



あの日から13年の歳月が流れました

3月11日で東日本大震災から13年になります。10年ひと昔と言いますが、あっという間の13年だったような気がします。沿岸部の人たちは1年1年が命がけで、あっという間なんて言ったら怒られてしまうかもしれません。当時、生まれたばかりで幼かったみんなに震災の記憶が残っているはずはありません。それは仕方のないことです。10年たち、次の10年に向かって時間は止まらずに流れています。その中で私たち、いや、私よりはるかに若いみんなが取り組むべきことは何かを考えていきましょう。

あの時、最初の揺れはおそらく3分くらいだったと思いますが、5分にも10分にも感じました。近くの民家の瓦が落ち、車を直撃された先生もいました。私はというと、外側は大丈夫でしたが、飲み残しの缶コーヒーが車内で大暴れしたようで、シートがベトベトでした。徐々に明らかになる被害を目にするたび、心が痛みました。すぐに被災地にボランティアに行く人がたくさんいましたが、私はどうしても行くことができませんでした。それが13年たった今でも悔やまれます。人のためになるとか、人の役に立つとかってそんなに簡単で

はないと思い知りました。予期せぬ自然災害に備えてどんな物を備蓄しておくとか、家族との連絡方法など、あの震災は私たちに大きな教訓を残してくれました。近年、災害に見舞われることが多いと感じるようになった中で、元日の能登半島地震・・・『自分は絶対に大丈夫』はもうないと思います。私は最近、水用のポリタンクを4個買いました。

当時から1だった子たちも、今年26歳になります。20歳の成人式で再会した時、ステキな若者になっていました。これから福島を背負うみんな！これからどんなことに取り組んで、故郷を救ってくれるのかな？そして、どのくらい立派な若者に成長してくれるのかな？そんな姿を想像しただけでも楽しみで仕方ありません。起きてはほしくないけど、また万が一何事が起こったら、今度こそ私は人の役に立ちたいと思います。私が自慢できることは体力くらいしかありません。あの時、勇気が出せなかった自分にリベンジしたいです。私は人の邪魔にならず、誰かの役に立てる老後を目指しています。



つないでくださいました。先輩のいない学校は淋しく、物足りないでしょう。しかし、今度私たちがその足りない部分を埋める番だと思っています。先輩たちに追いつけるかどうか分かりませんが、頑張ります！そして13日には、笑顔で先輩を送り出したいと思います。卒業式、絶対に成功させるぞ！！

『あふれる涙 力に変えて

まだ見ぬ世界へ

舟を漕ぎ出そう♪』



式歌・花束の一部です。私が大好きな歌詞です。卒業生の皆さん、ご卒業おめでとうございます！

来週はいよいよ卒業式

3月に入ってから、本当に飛ぶように時間が過ぎてきました。3年生の先輩とのお別れの日がいよいよやってきます。先輩はいつでも私たちのお手本となってくださいました。未熟な私たちに優しくしてくださり、本当にありがとうございました。先輩のおかげで中学校生活の不安はすぐになくなり、充実した毎日になりました。そして、先輩の姿を追いかけるという大きな目標もできました。学校の顔になり、伝統を受け継ぐと言うことはそう簡単ではありません。でも先輩達は、立派に伝統のたすきを私たちに



<3年生に心を込めて>



<3回目の実力テスト>



<体育でバスケットボールをやりました>



月日	11日(月)	12日(火)	13日(水)	14日(木)	15日(金)
予定	A6 18:00下校	A4・部休日 13:20下校	第77回卒業式 12:20下校	A6 18:00下校	A5 17:30下校